



2026 年 8 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社 WOLVES HAND
代表者名 代表取締役 CEO 兼 COO 北井 正志
(コード：194A、東証グロース市場)
問合せ先 執行役員 CFO 田中 哲生
(TEL. 06-6599-9106)

配当方針の変更及び 2027 年 6 月期の配当予想（初配）に関するお知らせ

当社は、2026 年 8 月 13 日開催の臨時取締役会において、配当方針の変更及び 2027 年 6 月期の配当予想（初配）について、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当方針の変更について

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題として認識しておりますが、当社グループは企業として成長過程にあることから、既存事業の持続的な成長に加えて、M&Aによる非連続的な成長を実現することを最優先としておりました。

そのような中で、当面は株主の皆様へ配当を実施するよりも、内部留保の充実を図り、将来の事業展開及び経営体質の強化のための投資等に充当し、より一層の事業拡大を目指すことが、株主の皆様に対する最大の利益還元につながるものと考えに基づき、創業以来配当を行っていませんでした。

しかしながら、当社グループ業績は 2024 年 6 月の上場以後堅調に推移しており、2026 年 6 月期におきましては売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益について、過去最高を更新いたしました。また、当社グループが推進する動物病院事業を中核としながら、電子カルテ・医療データプラットフォーム、CRO・SMO 事業、研究開発機能、医療機器事業、バイオマテリアル事業などを有機的に連携させる「One Health プラットフォーム」の構築により、来期以降それぞれの事業が相互に連携することで、各事業単独では実現できない付加価値を創出し、継続的な多層化収益の実現が見込まれます。また、自己資本比率についても 50%を超え、健全な財務基盤を確保できる体制が整備されております。このような企業成長を背景に、当社グループとして、事業拡大のための成長投資と、株主の皆様への配当による利益還元の両立が可能になったと判断いたしました。

これを踏まえ、今般、株主の皆様へ継続的かつ安定的な利益還元を実施するにあたり、配当方針を以下のとおり変更し、2027 年 6 月期より、適用することといたしました。

配当方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題と位置付けており、成長投資のための内部留保の確保と株主の皆様への利益還元のバランスを考慮し、株主利益の最大化に努めていきます。

株主の皆様には継続的かつ安定的な利益還元を実施することとし、配当性向 20%を基準として剰余金の配当を実施します。

2. 配当予想（初配）について

上記配当方針に基づき、当社グループ初となる剰余金の配当（初配）を実施することといたしました。

2027年6月期の1株当たりの配当予想は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
今期予想 (2027年6月期)	—	0円00銭	—	26円00銭	26円00銭
(参考) 前期実績 (2026年6月期)	—	0円00銭	—	0円00銭	0円00銭

(注) 上記の配当予想は、本資料の発表日現在において当社グループが入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、実際の配当は、今後の様々な要因により大きく異なる結果となる場合があります。

以 上